

在沖米海兵隊のグアム移転開始

- 在沖米海兵隊のグアム移転は、インド太平洋地域における日米同盟の抑止力・対処力を強化しつつ、沖縄の負担軽減を実現する観点から、重要な取組
- 海兵隊員の日本国外への移転の第一段階として、第3海兵機動展開部隊（III MEF）の後方支援要員約100名による先遣隊が、沖縄からグアムへの移転を開始（2024年12月発表）

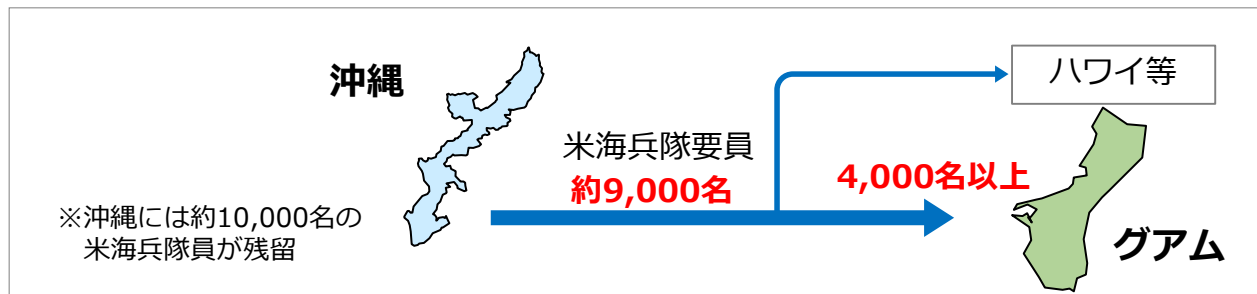
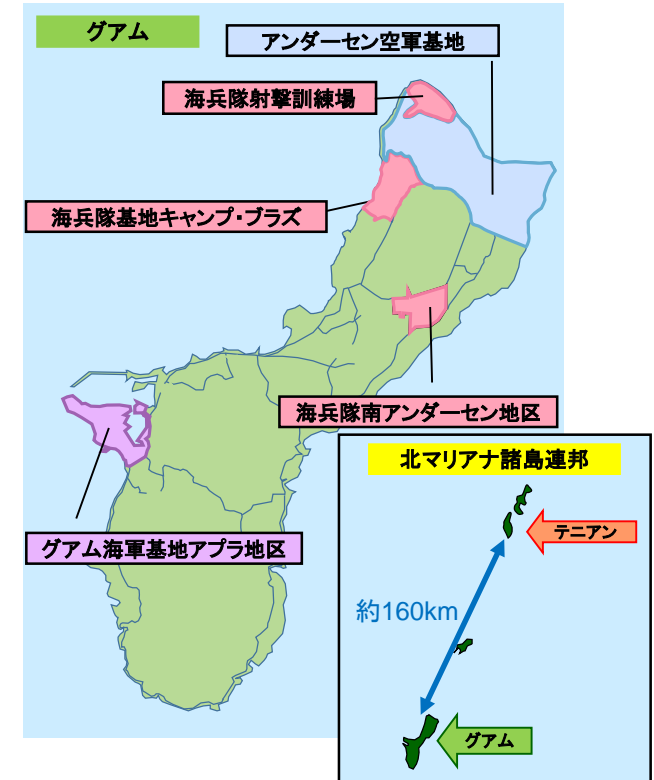
【日本側提供資金による施設整備の例】



海兵隊基地キャンプ・ブラズに整備された庁舎



海兵隊基地キャンプ・ブラズで建設が進む隊舎



- 4,000人以上の海兵隊の要員が、沖縄からグアムに移転することを日米間で確認
- これまでのところ、グアムに移転する主な部隊は、第3海兵機動展開旅団 (IIIMEB) 司令部 (キャンプ・コートニー)、第4海兵連隊 (キャンプ・シュワブ)、第4戦闘後方支援大隊 (キャンプ瑞慶覧) の全部又は一部であることを日米間で確認



海兵隊基地キャンプ・ブラズ

- 沖縄から移転する海兵隊部隊の基地
- 米側が、日本側資金により敷地造成、ユーティリティ、司令部庁舎、隊舎等の整備を実施
- 米側予算により隊舎、訓練施設、倉庫等の整備を実施

海兵隊南アンダーセン地区

- 米側が、日本側資金により訓練場の整備を実施
- 整備後の訓練場は、自衛隊による共同使用が可能

グアム海軍基地アプラ地区

- 沖縄から移転する海兵隊部隊が港湾施設を使用
- 米側が、日本側資金により基盤整備事業、診療所、乗船施設の整備を実施

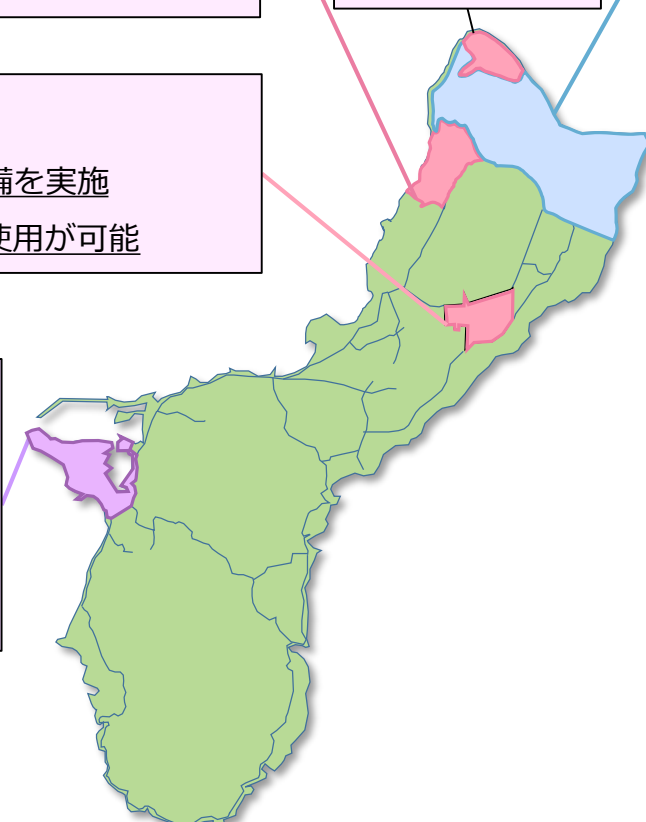
海兵隊射撃訓練場
(米側整備)

アンダーセン空軍基地

- 沖縄から移転する海兵隊部隊が航空運用施設を使用
- 米側が、日本側資金により基盤整備事業を実施
- 米側予算により、家族住宅、実弾射撃場等の整備を実施

テニアン島

- 沖縄から移転する海兵隊部隊が即応態勢を維持するため、訓練場が不可欠
- 今後米側が訓練場を整備予定、日本側はこれまでに資金を提供
- 整備後の訓練場は、自衛隊による共同使用が可能



北マリアナ
諸島連邦

テニアン

グアム

テニアン島
(拡大図)

ベースキャンプ
地区

サンホセ

訓練場整備予定地区

※このほか、基地外のインフラ改修等を米側予算で実施